

# 令和8年度 当初予算の概要



手賀沼のうなきちさん

©我孫子市2012



## 目 次

令和 8 年度予算 .....	1
<b>一般会計歳入の概要</b>	
市税 .....	2
地方交付税 .....	3
地方消費税交付金 .....	3
繰入金 .....	4
使用料・手数料 .....	4
分担金・負担金 .....	4
その他 .....	5
国庫支出金 .....	2
県支出金 .....	3
市債 .....	3
諸収入 .....	4
繰越金 .....	4
地方譲与税 .....	5
内訳・構成 .....	6
<b>一般会計歳出の概要（目的別）</b>	
民生費 .....	7
衛生費 .....	8
土木費 .....	9
消防費 .....	9
農林水産業費 .....	10
予備費 .....	10
教育費 .....	7
総務費 .....	8
公債費 .....	9
商工費 .....	10
議会費 .....	10
内訳・構成 .....	11
<b>一般会計歳出の概要（性質別）</b>	
人件費 .....	12
公債費 .....	12
維持補修費 .....	12
普通建設事業費 .....	13
積立金 .....	13
予備費 .....	13
扶助費 .....	12
物件費 .....	12
補助費等 .....	13
繰出金 .....	13
投資・出資・貸付金 .....	13
内訳・構成 .....	14
令和 8 年度の主な取り組み .....	15
基金残高の推移 .....	19
市債の借り入れ状況 .....	20
令和 8 年度下水道事業会計予算 .....	23
令和 8 年度水道事業会計予算 .....	24

## 令和 8 年度予算

### 令和 8 年度一般会計予算は前年度から 3.7%増の 512 億 3000 万円

市の令和 8 年度当初予算が、3 月の定例市議会で可決されました。

一般会計は、前年度に比べ 3.7 % 増の 5 1 2 億 3 0 0 0 万円となりました。

一般会計に 3 つの特別会計と公営企業会計である下水道事業会計、水道事業会計を加えた予算総額は、前年度に比べ 4 7 億 1 4 8 万円増の 9 1 9 億 1 4 1 8 万円となりました。

#### 予算規模の対前年度比較

(単位：千円)

会 計 名	令和 8 年度 予算額	令和 7 年度 予算額	増減額	対前年度 増減率(%)
一 般 会 計	51,230,000	49,390,000	1,840,000	3.7
特 別 会 計	29,520,000	27,838,000	1,682,000	6.0
国民健康保険事業特別会計	11,718,000	11,790,000	△ 72,000	△ 0.6
介護保険特別会計	14,520,000	13,230,000	1,290,000	9.8
後期高齢者医療特別会計	3,282,000	2,818,000	464,000	16.5
公 営 企 業 会 計	11,164,182	9,984,704	1,179,478	11.8
下水道事業会計	5,846,039	5,461,407	384,632	7.0
水道事業会計	5,318,143	4,523,297	794,846	17.6
合 計	91,914,182	87,212,704	4,701,478	5.4

※ 公営企業会計の予算額は事業費用と資本的支出の合計としています。

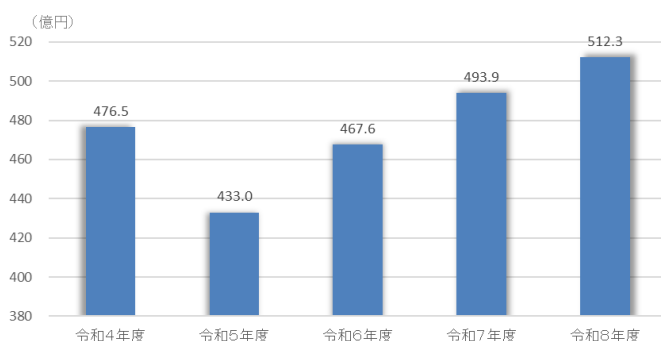
#### 一般会計予算規模の推移

一般会計予算が 1 8 億 4 0 0 0 万円増額となったのは、障害者自立支援給付費や児童通所支援給付費など民生費の増額や、小学校の給食費完全無償化による教育費の増などによるものです。

国民健康保険事業特別会計は、被保険者数の減少などに伴い保険給付費が減額となることなどから、対前年度比 0. 6 % の減となっています。

介護保険特別会計は、介護サービス利用者の増加に伴い保険給付費が増額となることなどから、対前年度比 9. 8 % の増となっています。

後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合に対する納付金が増額となることなどから、対前年度比 1 6. 5 % の増となっています。



## 一般会計歳入の概要

**市税 189億9326万円 対前年度増減率 +4.7%**

市の収入の中心で、地方税法、市税条例により、住民や企業などから納めていただいています。

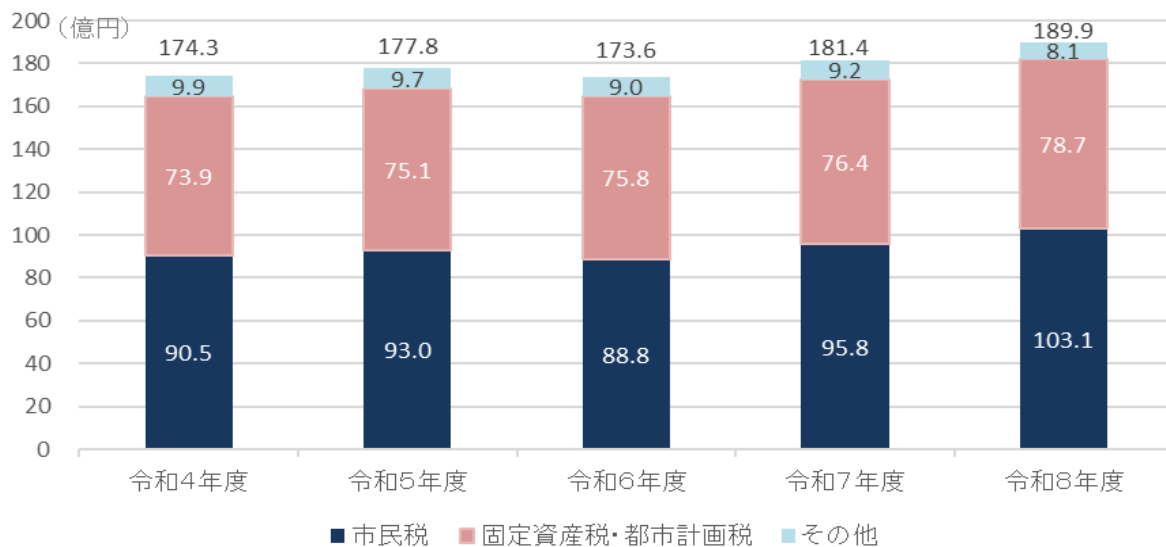
### 【内訳】

市民税	103億780万円	市たばこ税	6億円
固定資産税	64億7125万円	軽自動車税	2億1006万円
都市計画税	14億16万円	交付金	399万円

### 【主な増理由】

令和7年度の実績や国の試算を反映したことによる個人市民税の増

### 市税の推移



※令和6年度までは決算額、令和7年度以降は当初予算額

**国庫支出金 105億2653万円 対前年度増減率 +14.4%**

特定の事業の経費に充てるために、国から交付される財源です。

### 【主な増理由】

国の令和7年度補正（食料品の物価高騰対応）分の実施に伴う物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増や旧クリーンセンターの解体工事の実施等に伴う廃棄物処理施設整備事業補助金の増

## 地方交付税 61 億 2570 万円 対前年度増減率 +5.7%

全国の市町村の行政サービスの均衡を図るため、各自治体の財政力に応じて、国から使い方を特定せずに交付されます。

### 【内訳】

普通交付税	59 億 8000 万円
特別交付税	1 億 4500 万円
震災復興特別交付税	70 万円

### 【主な増理由】

令和 7 年度の交付実績や国の地方財政対策を反映したことによる増

## 県支出金 41 億 5562 万円 対前年度増減率 +10.1%

特定の事業の経費に充てるために、県から交付される財源です。

### 【主な増理由】

市内小学校の給食費を完全無償化することによる負担軽減補助金の増

## 地方消費税交付金 33 億 9400 万円 対前年度増減率 +7.8%

消費税率 10%（軽減分は 8%）のうち、2.2%（軽減分は 1.76%）相当額が地方消費税として国から県に交付されます。県は、人口や従業者数の割合により市町村に配分します。

### 【主な増理由】

令和 7 年度決算見込みによる増

## 市債 22 億 4630 万円 対前年度増減率 ▲30.2%

施設を建設する場合など一時に多額の経費を必要とし、長期間にわたって利用できる事業の財源として借り入れます。

### 【主な内訳】

資源化施設の整備	7 億 1630 万円
湖北消防署の整備	3 億 8460 万円
湖北小学校屋内運動場再建事業	2 億 6600 万円

### 【主な減理由】

- ・ 湖北消防署や五本松運動広場の整備の進捗による減
- ・ 金谷排水機場の更新工事の完了による減

**繰入金 18億9289万円 対前年度増減率 ▲15.5%**

財源調整のために積み立てている財政調整基金や、特定の目的のために積み立てている基金などから繰り入れます。

**【主な減理由】**

事業精査による財政調整基金繰入金の減

**諸収入 9億6392万円 対前年度増減率 ▲18.6%**

他の歳入科目に含まれない収入です。

**【主な減理由】**

新型コロナワクチンの定期接種化による減

**使用料・手数料 6億1542万円 対前年度増減率 +2.8%**

使用料は、市民体育館使用料のように市民が市の施設を利用したときに、手数料は、住民票の交付などのように市民が市から特別のサービスを受けたときにそれぞれその対価として徴収します。

**【主な増理由】**

令和7年度に受益者負担額を改定した自転車駐車場使用料の増

**繰越金 5億円 対前年度増減率 ±0%**

前年度の決算で生じる収支差額を、翌年度に繰り越すものです。

**分担金・負担金 4億5095万円 対前年度増減率 ▲5.4%**

市が行う事業等によって特定の利益を受ける者から徴収するもので、保育園保育料などがあります。

**【主な減理由】**

金谷排水機場の改修工事の進捗による柏市排水路整備負担金の減

## 地方譲与税 2億7900万円 対前年度増減率 ▲4.1%

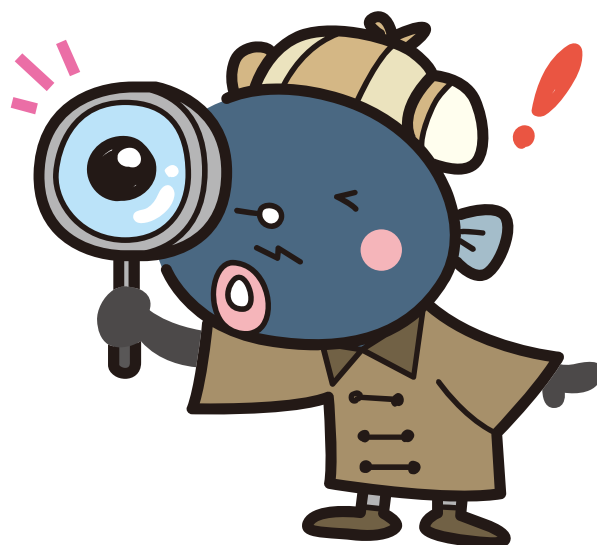
本来市税となる財源をいったん国税として徴収し、市に譲与されます。

### 【内訳】

自動車重量譲与税	2億700万円
地方揮発油譲与税	5700万円
森林環境譲与税	1500万円

## その他 10億8642万円 対前年度増減率 +33.2%

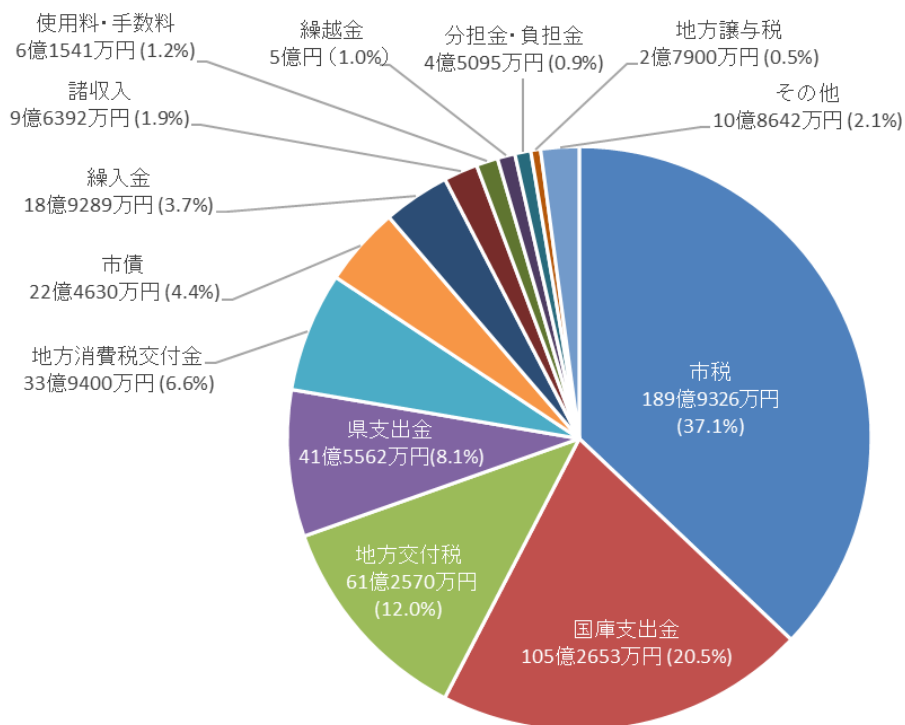
利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、財産収入、寄附金の合計です。



★一般会計歳入予算の内訳＜令和8年度構成比順＞

名称	令和8年度 予算額	構成比 (%)	令和7年度 予算額	構成比 (%)	対前年度 増減率 (%)
市税	189億9326万円	37.1	181億4230万円	36.7	4.7
国庫支出金	105億2653万円	20.5	92億183万円	18.6	14.4
地方交付税	61億2570万円	12.0	57億9600万円	11.7	5.7
県支出金	41億5562万円	8.1	37億7607万円	7.7	10.1
地方消費税交付金	33億9400万円	6.6	31億4700万円	6.4	7.8
市債	22億4630万円	4.4	32億1960万円	6.5	△ 30.2
繰入金	18億9289万円	3.7	22億4129万円	4.6	△ 15.5
諸収入	9億6392万円	1.9	11億8363万円	2.4	△ 18.6
使用料・手数料	6億1541万円	1.2	5億9863万円	1.2	2.8
繰越金	5億円	1.0	5億円	1.0	0.0
分担金・負担金	4億5095万円	0.9	4億7680万円	1.0	△ 5.4
地方譲与税	2億7900万円	0.5	2億9100万円	0.6	△ 4.1
その他	10億8642万円	2.1	8億1585万円	1.6	33.2
合計	512億3000万円	100.0	493億9000万円	100.0	3.7

★一般会計歳入予算の構成＜構成比順＞





## 一般会計歳出の概要（目的別）

※「目的別」分類とは、行政分野ごとの予算の比重を明らかにするための分類方法です。

**民生費 247 億 4700 万円 対前年度増減率 +7.9%**

第7次健康福祉総合計画に基づく事業をはじめ、高齢者や障害者、児童などの社会福祉の充実を図り、必要な支援を行うための経費です。

### 【主な増理由】

サービス利用者の増に伴う障害者自立支援給付費の増、公定価格の改定による私立保育園委託料の増

### 【主な事業】

障害者自立支援給付費の支給	34 億 840 万円
生活保護費の支給	25 億 7838 万円
私立保育園等への児童保育の委託	25 億 2283 万円
児童手当の支給	23 億 2140 万円
介護保険特別会計への繰出金	22 億 3925 万円
後期高齢者医療広域連合への負担金	16 億 4157 万円
児童発達の支援	9 億 5439 万円
国民健康保険事業特別会計への繰出金	9 億 3116 万円
子ども・子育て支援給付費の支給	8 億 339 万円



**教育費 56 億 3316 万円 対前年度増減率 ▲0.1%**

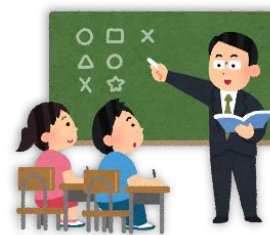
教育委員会に係る予算で、小中学校の運営、社会教育事業、生涯学習センター、公民館、図書館、文化・スポーツ事業などの経費です。

### 【主な減理由】

五本松運動広場整備工事及び老朽化対策に伴う小中学校施設整備工事を7年度に前倒ししたことによる減

### 【主な事業】

学校給食の運営（人件費・維持費は除く）	9 億 6133 万円
幼稚園の振興 （施設型給付費や私立幼稚園就園奨励費補助金など）	6 億 8446 万円
湖北小学校屋内運動場の再建	4 億 6005 万円
小中学校のICT教育の推進	4 億 4646 万円
小学校の運営	3 億 327 万円
中学校の運営	1 億 6472 万円
小学校施設の維持管理	1 億 3415 万円
市民体育館の運営	1 億 2555 万円



## 衛生費 50 億 1143 万円 対前年度増減率 +17.1%

ごみ処理や環境対策、病気予防のための各種健診など、衛生的で健康な生活の維持・向上を図るための経費です。

### 【主な増理由】

旧クリーンセンターの解体工事や土壌汚染対策工事を実施することによる増

### 【主な事業】

旧クリーンセンターの解体・土壌汚染工事	11 億 9790 万円
資源回収及び処理（生ごみの資源化分を含む）	5 億 886 万円
各種予防接種の委託など	4 億 6501 万円
クリーンセンターの維持管理など	4 億 6303 万円
家庭ごみ収集業務の委託など	2 億 6684 万円
親と子の健康づくりの推進（妊産婦乳幼児健診など）	2 億 692 万円
市民の自主的な健康づくりの推進（がん検診など）	1 億 9146 万円
特定健診・長寿健診の委託など	1 億 9053 万円
剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策分）	1 億 8371 万円
廃棄物処分委託など	1 億 7383 万円



## 総務費 49 億 3331 万円 対前年度増減率 ▲4.7%

主に市の管理的業務を行う経費と、近隣センターや防犯対策など、他の経費に区分できない経費です。

### 【主な減理由】

標準準拠システムへの移行進捗による標準化関連システム導入業務委託料の減

### 【主な事業】

電算の管理運営	7 億 6856 万円
庁舎等の維持管理	3 億 6557 万円
財政調整基金への積立金	2 億 5000 万円
市民・近隣センター等の維持・管理運営	2 億 4684 万円
庁舎等の維持補修	1 億 6190 万円
東葛中部地区総合開発事務組合に係る負担金	1 億 2534 万円
市税の徴収事務	8643 万円
総合窓口の運用	8173 万円



## 土木費 38 億 7737 万円 対前年度増減率 +3.8%

道路、公園、排水対策、交通計画など、快適なまちづくりのための環境整備の経費です。

### 【主な増理由】

船戸跨線人道橋修繕工事の負担金の増

### 【主な事業】

下水道事業会計への補助金・出資金・負担金	7 億 6508 万円
道路の維持補修	7 億 2402 万円
公園の維持管理	2 億 8755 万円
市営住宅維持管理費	1 億 8327 万円
道路の維持管理	1 億 5907 万円
自転車の駐車対策 (自転車駐車場の管理運営・放置自転車の撤去など)	1 億 5806 万円
市民バスの運行	1 億 377 万円



## 公債費 32 億 3546 万円 対前年度増減率 +3.6%

市債として借りた資金を返済するための元金及び利子の経費です。

### 【主な増理由】

臨時財政対策債の想定利率の見直しなどによる長期債償還利子の増



## 消防費 25 億 9080 万円 対前年度増減率 ▲23.4%

防火、救急業務など、市民生活の安全を守るための経費です。

### 【主な減理由】

湖北消防署の整備の進捗に伴う減

### 【主な事業】

湖北消防署の整備	5 億 9613 万円
消防車両の整備	1 億 5839 万円
消防通信指令業務の共同運用	1 億 2433 万円



## 商工費 4億8014万円 対前年度増減率 +21.6%

商業や工業の振興、観光事業、消費生活の向上のための経費です。

### 【主な増理由】

柴崎地区産業用地整備に係る負担金の増

### 【主な事業】



中小企業に対する資金融資	1億3006万円
企業立地の推進	1億9万円
アビシルベ（インフォメーションセンター）の運営	3279万円
手賀沼周遊レンタサイクル等の運営	2326万円
観光の振興（手賀沼花火大会への負担金など）	1828万円
商業活性化の推進	1551万円

## 農林水産業費 3億1540万円 対前年度増減率 +3.1%

農業用水の排水機場の維持管理や農業の振興、農業委員会の運営などの経費です。

### 【主な増理由】

外来水生植物の防除に伴う外来水生植物防除業務委託料の増

### 【主な事業】

各排水機場の維持管理負担金など	7948万円
幹線排水路の維持管理に係る負担金	2169万円
手賀沼沿い農地の活用	2007万円
農業の生産性維持向上の支援	1691万円
農業の経営安定化への支援	845万円
地産地消の推進	744万円



## 議会費 3億593万円 対前年度増減率 ▲5.2%

議員報酬や議会事務などの議会活動に要する経費です。

### 【主な減理由】

議会事務局配置人数の減に伴う一般職人件費の減

### 【主な事業】

議員報酬（手当・共済費を含む）	2億1788万円
議会の事務運営	1348万円



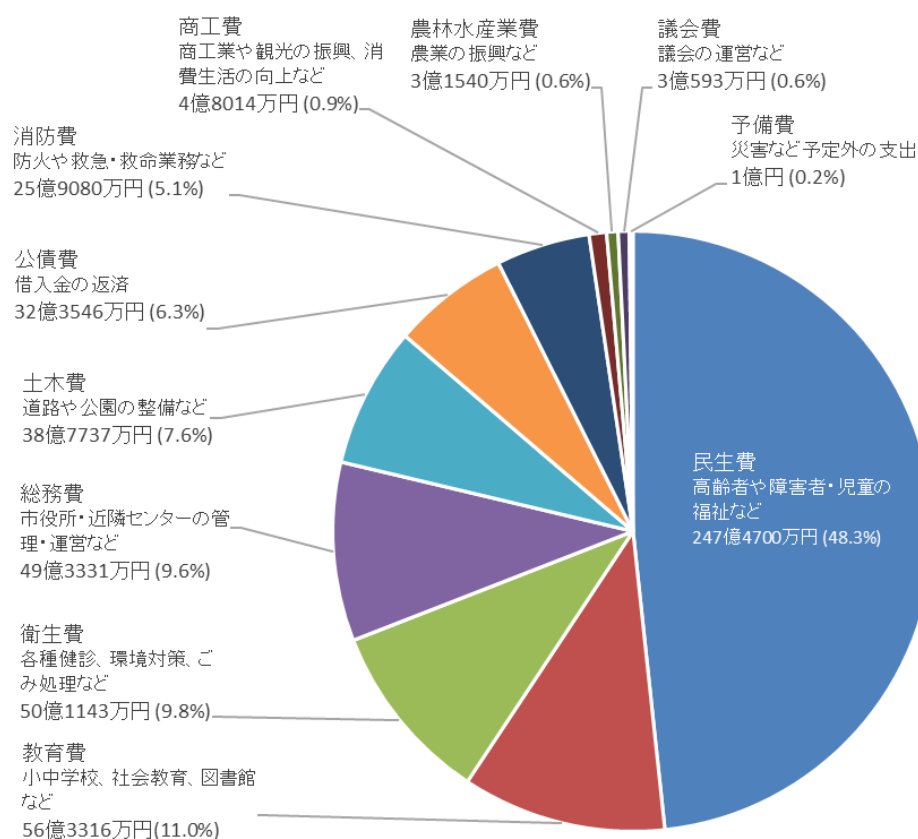
## 予備費 1億円 対前年度増減率 ±0%

災害など予定外の支出に備えるための経費です。

★一般会計歳出予算（目的別）の内訳＜令和8年度構成比順＞

名称	令和8年度 予算額	構成比 (%)	令和7年度 予算額	構成比 (%)	対前年度 増減率 (%)
民生費	247億4700万円	48.3	229億3355万円	46.4	7.9
教育費	56億3316万円	11.0	56億3972万円	11.4	△0.1
衛生費	50億1143万円	9.8	42億7797万円	8.7	17.1
総務費	49億3331万円	9.6	51億7649万円	10.5	△4.7
土木費	38億7737万円	7.6	37億3634万円	7.6	3.8
公債費	32億3546万円	6.3	31億2238万円	6.3	3.6
消防費	25億9080万円	5.1	33億8030万円	6.8	△23.4
商工費	4億8014万円	0.9	3億9469万円	0.8	21.6
農林水産業費	3億1540万円	0.6	3億591万円	0.6	3.1
議会費	3億593万円	0.6	3億2265万円	0.7	△5.2
予備費	1億円	0.2	1億円	0.2	0.0
合計	512億3000万円	100.0	493億9000万円	100.0	3.7

★一般会計歳出予算（目的別）の構成＜構成比順＞



## 一般会計歳出の概要（性質別）

※「性質別」分類とは、一般に財務体質を明らかにするための分類方法です。

※「性質別」分類は、毎年決算において、国が定めた全国一律の基準にあてはめて分類します。そのため、当初予算においては概算的な分類となっています。

**人件費 100 億 2606 万円 対前年度増減率 +4.8%**

常勤一般職及び会計年度任用職員の人件費、市長や議員、各種委員報酬などの経費です。

【主な増理由】

人事院勧告に伴う増額

**扶助費 149 億 1339 万円 対前年度増減率 +5.0%**

社会保障制度の一環として、法令などに基づき被扶助者に対して支出する経費です。

【主な増理由】

サービス利用者の増による障害者自立支援給付費の増

**公債費 32 億 3546 万円 対前年度増減率 +3.6%**

市債として借りた資金に利子を付けて返済するための経費です。

**物件費 95 億 4867 万円 対前年度増減率 ▲2.4%**

消耗品費・光熱水費・印刷製本費などの需用費、委託料、使用料、備品購入費などの経費です。

【主な減理由】

住民記録や税業務を含む主要 20 業務について、国の策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行がほぼ完了することによる標準化関連システム導入業務委託料の減

**維持補修費 2 億 2805 万円 対前年度増減率 +10.0%**

公共施設等を保全し、維持するための経費です。

【主な増理由】

修繕箇所増加による駅施設修繕料の増

**補助費等 42億7552万円 対前年度増減率 +51.0%**

補助金や負担金、報償費、公課費（自動車重量税など）などの経費です。

【主な増理由】

食料品等の物価高騰対策による生活支援給付金事業の実施の増

**普通建設事業費 32億3860万円 対前年度増減率 ▲25.1%**

道路、公園、公共施設の新・増築などの建設事業に要する経費です。

【主な減理由】

湖北消防署及び五本松運動広場の整備進捗による減

**繰出金 52億6098万円 対前年度増減率 +8.9%**

特別会計を運営するために、特別会計に対して支出する経費です。

【主な増理由】

被保険者の高齢化等に伴う介護保険特別会計繰出金の増や高齢者人口の増加に伴う後期高齢者医療療養給付費負担金の増

**積立金 2億7177万円 対前年度増減率 ▲0.1%**

将来の支出に備えて各種基金へ積み立てるために支出する経費です。

【主な減理由】

森林環境譲与税積立金の減額に伴う減

**投資・出資・貸付金 1億3150万円 対前年度増減率 ▲18.1%**

関係機関などに対して支出する出資金や中小企業資金融資資金などの貸付金です。

【主な減理由】

下水道事業会計出資金の減

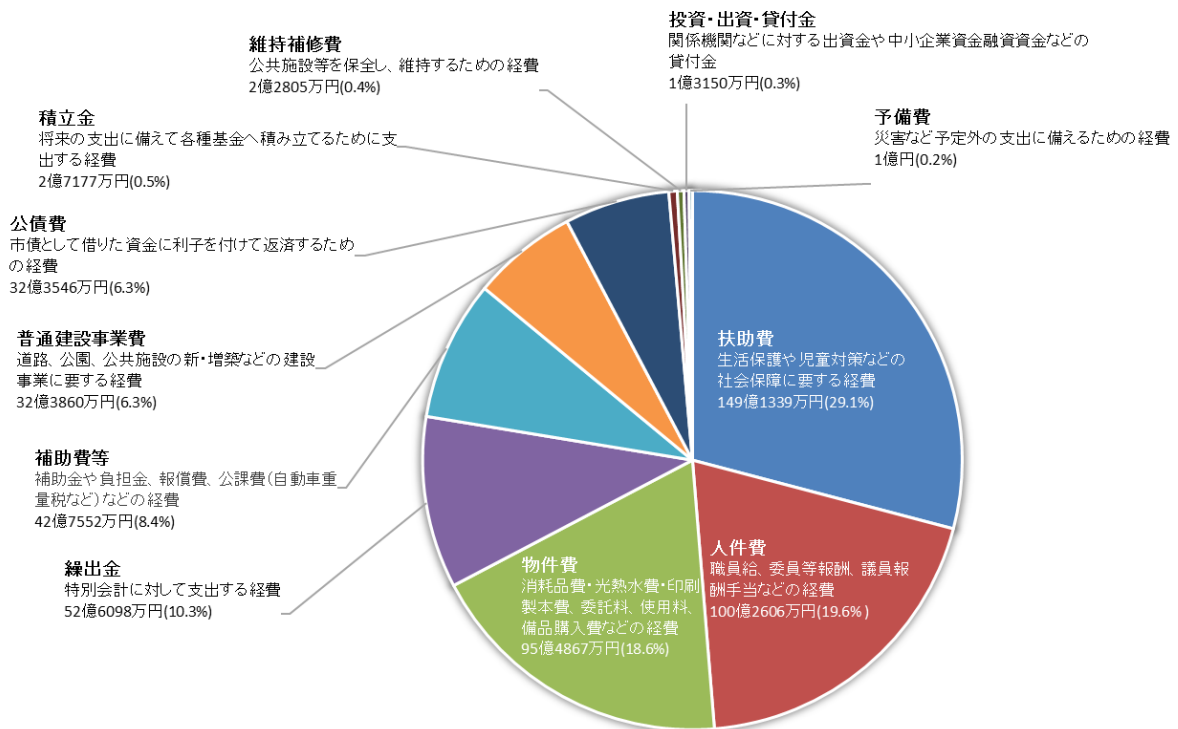
**予備費 1億円 対前年度増減率 ±0%**

災害など予定外の支出に備えるための経費です。

★一般会計歳出予算（性質別）の内訳

区分	令和8年度 予算額	構成比 (%)	令和7年度 予算額	構成比 (%)	対前年度 増減率 (%)
人件費	100億2606万円	19.6	95億6414万円	19.4	4.8
扶助費	149億1339万円	29.1	141億9724万円	28.7	5.0
公債費	32億3546万円	6.3	31億2238万円	6.3	3.6
義務的経費計	281億7491万円	55.0	268億8376万円	54.4	4.8
物件費	95億4867万円	18.6	97億8373万円	19.8	△ 2.4
維持補修費	2億2805万円	0.4	2億738万円	0.4	10.0
補助費等	42億7552万円	8.4	28億3151万円	5.7	51.0
普通建設事業費	32億3860万円	6.3	43億2112万円	8.8	△ 25.1
（うち補助事業）	(3億6338万円)	0.7	(4億5315万円)	0.9	△ 19.8
（うち単独事業）	(28億7522万円)	5.6	(38億6797万円)	7.9	△ 25.7
投資的経費計	32億3860万円	6.3	43億2112万円	8.8	△ 25.1
積立金	2億7177万円	0.5	2億7215万円	0.6	△ 0.1
投資・出資・貸付金	1億3150万円	0.3	1億6061万円	0.3	△ 18.1
繰出金	52億6098万円	10.3	48億2974万円	9.8	8.9
予備費	1億円	0.2	1億円	0.2	0.0
その他計	57億6425万円	11.3	53億6250万円	10.9	7.5
合計	512億3000万円	100.0	493億9000万円	100.0	3.7

★一般会計歳出予算（性質別）の構成＜構成比順＞





## 令和 8 年度の主な取り組み

市が目指す将来都市像「未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子」の実現に向け、令和 8 年度は主に以下の事業に取り組んでいきます。

### ◎基本目標 1

#### 誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）

##### 消防力の強化 7億5451万円

湖北消防署の令和 8 年 1 1 月の開署を目指し、引き続き整備工事を進めていきます。

また、高規格救急自動車及び新たに増設した救助隊が運用する救助用資機材を積載した水槽付きポンプ自動車を整備します。

### ◎基本目標 2

#### 誰もが健康で自分らしく ともに暮らせるまちづくり（健康福祉）

##### 小児科診療所等開業促進事業 1600万円

市内の小児科不足を解消し、市民が安心して子どもを育てられる環境づくりを推進するため、千葉県内初の取り組みとして、市内西側に小児科を有する診療所等を開設する者又は既に開設している病院等に新たに小児科を診療科目として追加する者に対し、補助金を交付し、開設を支援します。

### ◎基本目標 3

#### 子どもと子育てにあたたかいまちづくり（子ども・教育）

##### こども家庭センターの設置 597万円

児童及び妊産婦の福祉に関する包括的な支援を行うため、子ども相談課の中に、「我孫子市こども家庭センター かるがも」を設置します。

併せて、我孫子駅南口のアビイクオーレ 2 階に、買い物に来た際にも気軽に相談できる「こども家庭センター かるがも 我孫子駅前相談窓口」を開設します。

こども家庭センターで「体罰によらない子育て」を推進するペアレントプログラムを実施するにあたり、必要な研修に参加します。

##### 湖北小学校屋内運動場再建事業 4億6005万円

火災で焼損した湖北小学校屋内運動場について、新築工事を令和 9 年 2 月の竣工を目指し進めます。

## 小学校屋内運動場空調設備整備事業 855万円

小学校屋内運動場への空調設備の整備を進めます。令和8年度は、我孫子第二小学校、我孫子第三小学校への設置に向けた設計を行います。

## 学校給食費支援 3億7609万円

保護者の子育て支援・経済的負担軽減を目的に、国の施策である小学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)で配分される国費に加え、実際の給食費に対して不足する費用を市が負担する形で市立小学校に在籍する児童の給食費の完全無償化を行います。

また、中学校では、引き続き、在籍する第3子以降の生徒の学校給食費の無償化や第1子、第2子の生徒への月額1,000円の支援及び食物アレルギー等により弁当を持参している生徒の、保護者に対する補助を行います。また、学校給食費負担軽減等補助金として引き続き給食食材料費の高騰による中学校給食費の増額分について、月額約300円の補助を継続していきます。

## 学校給食管理運営事業 4163万円

適切な食品衛生管理及び調理員の労働環境の改善を図るため、市内19校の小中学校給食室に空調設備をリース方式で整備します。(債務負担行為設定期間：R7～R21 設定金額：1,156,922千円)

現在私会計として学校ごとに管理されている学校給食費について、令和9年4月より市が管理する一般会計に移行します。令和8年度は、給食に関する実績管理等を行うためのシステムを導入します。また、給食費の口座登録にはWeb口座振替受付サービスを活用します。

## ◎基本目標4

### 活力あふれ にぎわいのあるまちづくり (産業・観光)

## 観光振興策の推進 806万円

手賀沼公園ミニ鉄道踏切遮断機について、設置から約40年が経過し、老朽化が進んでいるため、修繕を行います。

## 手賀沼遊歩道の再整備 1 2 2 4 万円

手賀沼親水広場前の約200メートル区間において、波による護岸の浸食が著しいため、安全な遊歩道を維持できるよう、令和6年度からの4か年継続事業として護岸の修繕工事を実施しており、令和8年度も引き続き工事を進めていきます。

また、経年や根上がりによる劣化が確認された遊歩道の舗装修繕を行い、適正な維持管理に努めていきます。

## ◎基本目標5

### 快適で住み続けたいくなるまちづくり（都市基盤・公共交通）

#### 地域公共交通の維持確保と利便性向上 4 3 6 0 万円

路線バスの布佐ルート実証運行を継続するとともに、平和台線については、令和8年9月からあびバスとして運行を開始します。

## ◎基本目標6

### 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり（環境）

#### ごみ減量と資源化の推進 1 1 億 9 8 0 4 万円

令和12年度からの稼働を目指しているリサイクルセンターの整備に向け、令和7年度から9年度まで、旧焼却施設の解体及び土壌汚染対策工事を行います。また、リサイクルセンターを整備運営する事業者を選定するための委員会を令和7年度から8年度まで開催します。

## ◎基本目標7

### 人と文化を育むまちづくり（生涯学習・文化・スポーツ）

#### 五本松運動広場の整備 3 4 0 0 万円

サッカーやラグビーを中心とした屋外競技に利用可能なグラウンドの整備を進め、令和8年度中の竣工を目指します。

#### 2026FIFA ワールドカップパブリックビューイング

6月中旬に行われる予選からアビスタに会場を設け日本代表チームを応援します。我孫子市出身で市制施行55周年市民文化スポーツ栄誉章受章者の中村敬斗選手を市を挙げて応援することで、スポーツの振興とシビックプライドの醸成を図ります。

## ◎基本目標 8

### 誰もが自分らしく輝ける共生社会を目指したまちづくり (男女共同・人権・平和・国際交流)

#### 平和事業の実施 302万円

若い世代に平和の尊さや、戦争の恐ろしさについて学んでもらうため、市内各中学校から最大2名ずつの代表者を被爆地である長崎に派遣します。また、歴代の派遣経験者が講師となり、自身が現地で学んだことを市内小学校の6年生を対象に授業を行う「リレー講座」を実施します。

昨年戦後80年記念で制作した我孫子市平和のうた「願いを込めて～PEACE FOREVER～」を平和の集いなどのイベントや、市内の小中学校で合唱や吹奏楽に活用してもらえよう働きかけていきます。

## ◎施策推進のための横断的な取組 (協働・行財政運営・シティプロモーション)

#### シティプロモーションの推進 2029万円

我孫子市への移住を促進するため、認知度の向上、メディア露出、市のイメージアップを目的として、子育て世帯や資金面などで支援する親・祖父母世代に向けたさまざまな事業を実施します。

フリーペーパーとWEB広告、移住PR紙、インタビュー動画などによる多角的な移住情報の発信に取り組み、転入者の増加を図ります。



## 基金残高の推移

基金は、特定の目的のために資金を積み立て、運用するために設けられています。  
 主な基金の推移は次のとおりです。

### ★一般会計において資金管理を行うもの

基金の名称	令和6年度 決算残高	令和7年度 決算見込残高	令和8年度 現在高見込
財政調整基金	36億6300万円	42億9400万円	33億2300万円
減債基金	13億6478万円	14億6360万円	12億5360万円
公共施設整備基金	14億8240万円	11億9470万円	9億8046万円
ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金	6190万円	5283万円	3623万円
国際・平和交流推進基金	4570万円	4380万円	4380万円
社会福祉事業基金	2億5740万円	2億5920万円	2億5884万円
緑の基金	6530万円	6560万円	6592万円
スポーツ振興基金	1億3110万円	6910万円	3512万円
一般廃棄物処理施設整備等基金	3億9320万円	5億7420万円	4億7315万円
成田線輸送力強化等整備基金	620万円	640万円	640万円
文化施設整備基金	6億6940万円	6億7090万円	6億7100万円
めるへん文庫基金	7920万円	6815万円	6154万円
文化財保存基金	1130万円	1230万円	1249万円
災害対策基金	3090万円	3100万円	3100万円
森林環境譲与税基金	3117万円	2839万円	3489万円
白樺文学館基金	420万円	500万円	559万円
鳥の博物館基金	1430万円	1840万円	2160万円
市民活動推進基金	0円	450万円	190万円
小中学校教育振興基金	1025万円	383万円	385万円
小中学校教育振興基金 (各19校)	1775万円	2060万円	2081万円
合計	83億3945万円	88億8649万円	73億4119万円

※財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するための積立金

※減債基金・・・市債返済のための積立金

★各特別会計において資金管理を行うもの

基金の名称	令和6年度 決算残高	令和7年度 決算見込残高	令和8年度 現在高見込
国民健康保険事業財政調整基金	1億269万円	1億1227万円	1億3840万円
介護保険財政調整基金	13億8680万円	12億1264万円	6億3071万円

## 市債の借り入れ状況

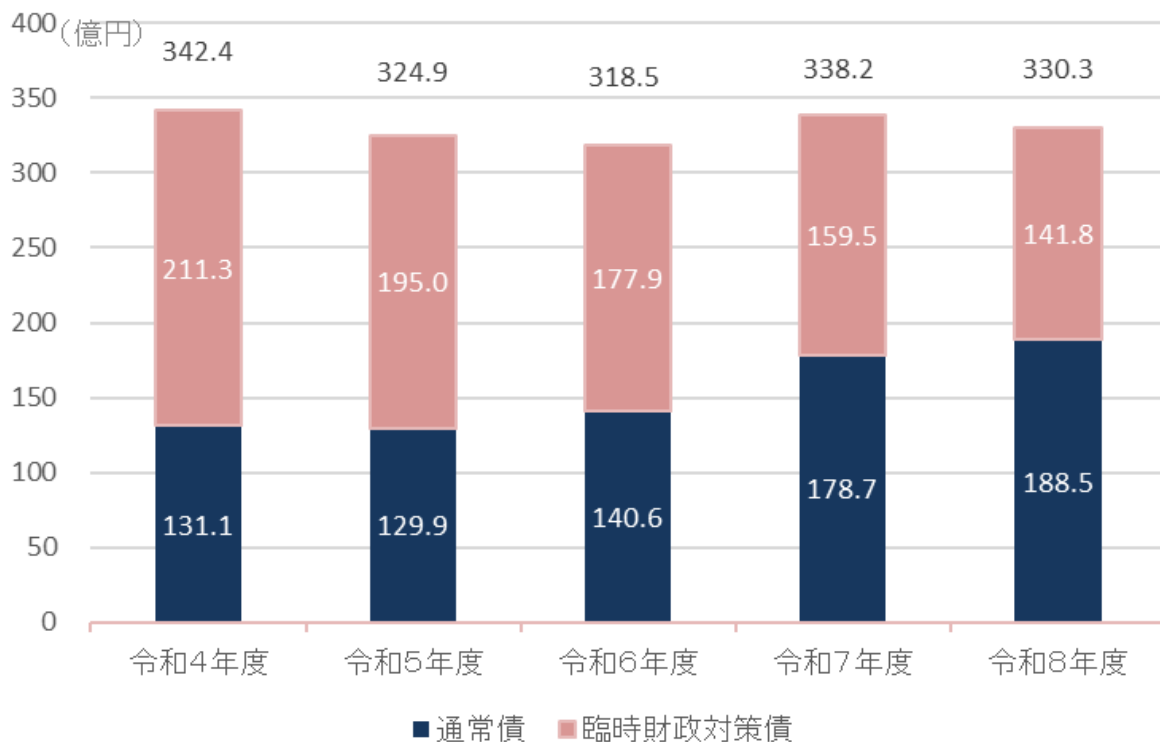
市債は、施設整備や用地取得の費用などに充てるため、県知事の同意を受けたうえで財務省、地方公共団体金融機構、民間金融機関などから借り入れる資金です。

(1) 市債残高の推移

市債残高の推移は次のとおりです。

	令和6年度 決算残高	令和7年度 決算見込残高	令和8年度 末時点残高見込
一般会計残高	318億4243万円	338億1209万円	330億2902万円

※令和6年度までは決算額、令和7年度以降は見込額

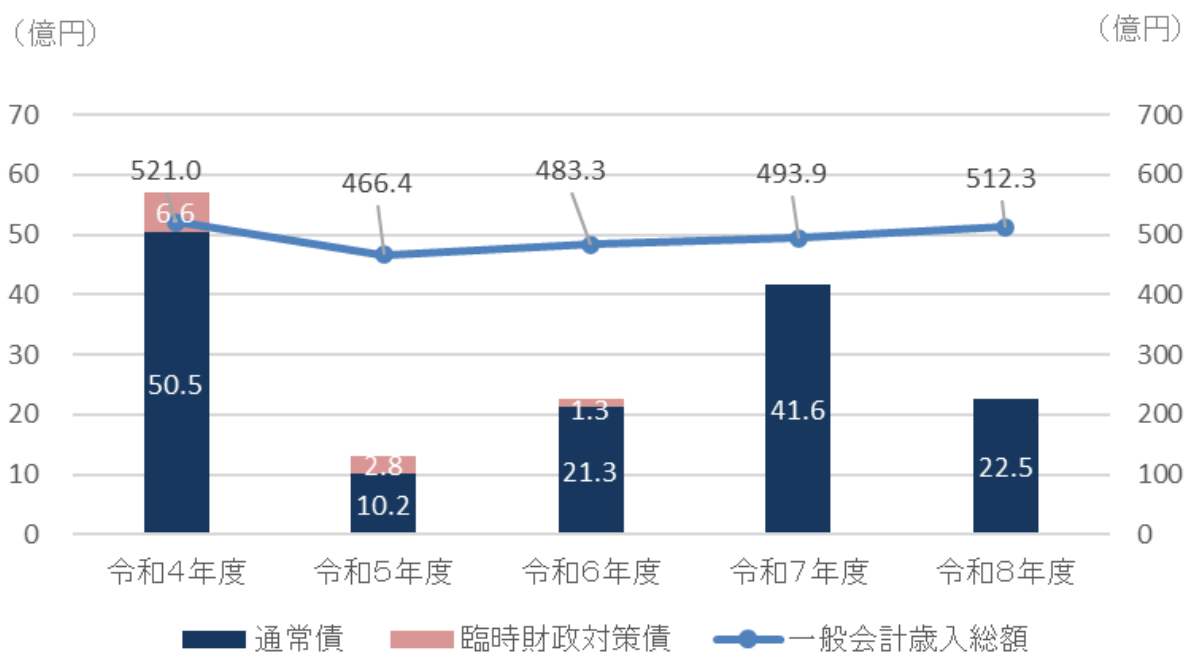


(2) 一般会計市債借入額の推移

一般会計における市債借入額の推移は次のとおりです。

区分	令和6年度 決算額	令和7年度 決算見込額	令和8年度 予算額
一般会計歳入総額・A	483億2823万円	493億9000万円	512億3000万円
一般会計市債借入 (見込)額・B	22億6330万円	41億6290万円	22億4630万円
臨時財政対策債	1億3000万円	0円	0円
通常債	21億3330万円	41億6290万円	22億4630万円
市債依存度・B / A	4.7%	8.4%	4.4%

※通常債は、臨時財政対策債以外の市債



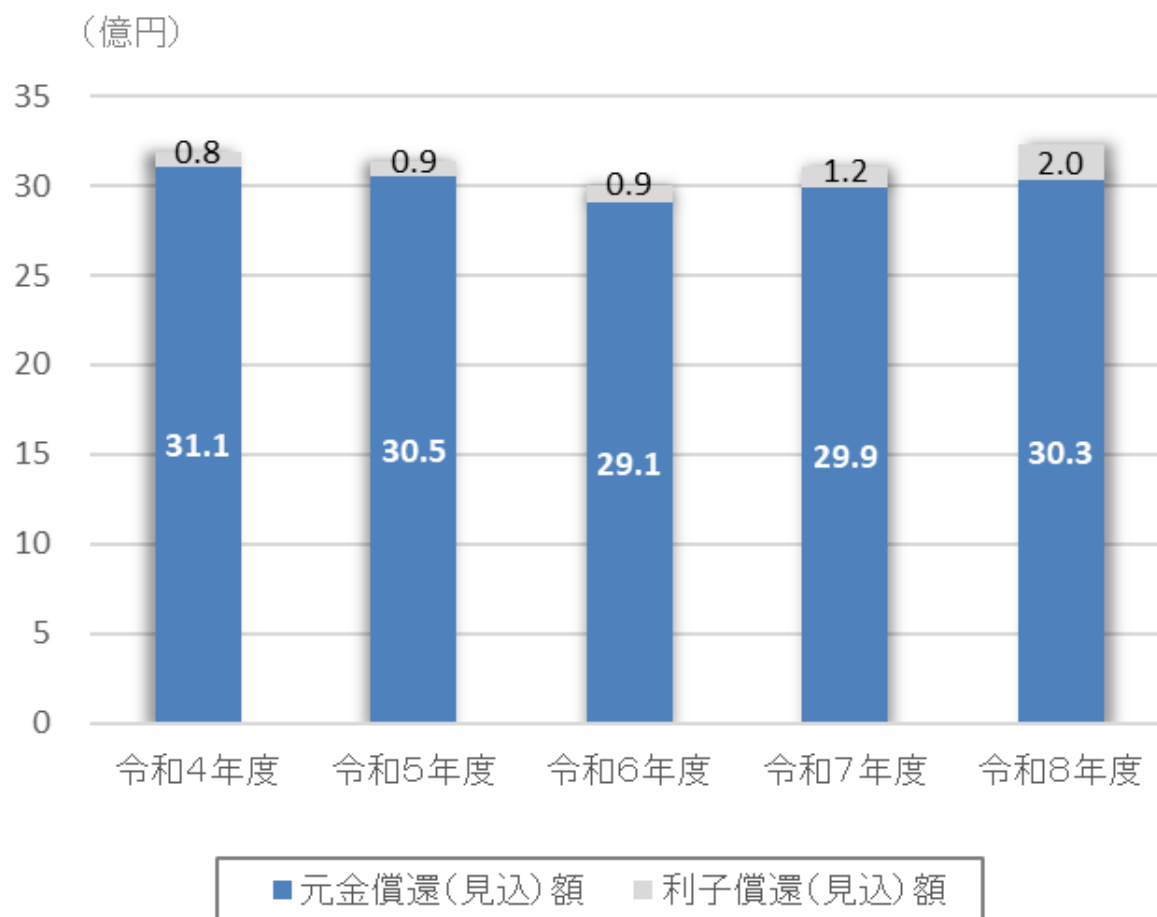
※令和6年度までは決算額、令和7年度は決算見込額、令和8年度は当初予算額

(3) 一般会計公債費償還額の推移

一般会計における公債費償還額の推移は次のとおりです。

区分	令和6年度 決算額	令和7年度 決算見込額	令和8年度 予算額
元金償還（見込）額	29億1035万円	29億8784万円	30億2937万円
利子償還（見込）額	9109万円	1億1845万円	2億109万円
合計	30億144万円	31億629万円	32億3046万円

※令和8年度予算額のうち、「利子償還（見込）額」欄は、一時借入金に係る利子（500万円）を除いているため、予算額と一致しません。



※令和6年度までは決算額、令和7年度は決算見込額、令和8年度は当初予算額



## 令和 8 年度下水道事業会計予算

当初予算総事業予算額は 5 8 億 4 6 0 4 万円

下水道事業会計は、下水道使用料収入などを財源とし、汚水・雨水の処理を行うための会計です。

### 1 業務の予定量

	令和 7 年度 予定業務量	令和 8 年度 予定業務量	対前年度増減
排水区域内人口	11 万 2829 人	<b>11 万 2688 人</b>	141 人減
年間有収水量	1060 万 m <sup>3</sup>	<b>1017 万 m<sup>3</sup></b>	43 万 m <sup>3</sup> 減

### 2 収益的収支（下水道料金等収入や汚水・雨水を処理するための費用の収支）

	令和 7 年度 予算額	令和 8 年度 予算額	対前年度増減
下水道事業収益	31 億 9304 万円	<b>32 億 2616 万円</b>	3312 万円増
下水道事業費用	28 億 5211 万円	<b>28 億 8719 万円</b>	3508 万円増

### 3 資本的収支（下水道施設の建設・更新等にかかる収支）

	令和 7 年度 予算額	令和 8 年度 予算額	対前年度増減
資本的収入	20 億 6967 万円	<b>23 億 3937 万円</b>	2 億 6970 万円増
資本的支出	26 億 930 万円	<b>29 億 5885 万円</b>	3 億 4955 万円増

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、内部留保資金等で補てんします。

## 令和 8 年度水道事業会計予算

### 当初予算総事業予算額は 5 3 億 1 8 1 4 万円

水道事業会計は、水道料金収入などを財源とし、安全で十分な水道水を確実に供給するための会計です。

#### 1 業務の予定量

	令和 7 年度 予定業務量	令和 8 年度 予定業務量	対前年度増減
給水戸数	5 万 9912 戸	6 万 800 戸	888 戸増
年間総給水量	1280 万 m <sup>3</sup>	1233 万 m <sup>3</sup>	47 万 m <sup>3</sup> 減

#### 2 収益的収支（水道料金収入や水道水を届けるための費用の収支）

	令和 7 年度 予算額	令和 8 年度 予算額	対前年度増減
水道事業収益	27 億 4550 万円	35 億 8055 万円	8 億 3505 万円増
水道事業費用	26 億 9588 万円	29 億 7195 万円	2 億 7607 万円増

#### 3 資本的収支（水道施設の建設・更新等にかかる収支）

	令和 7 年度 予算額	令和 8 年度 予算額	対前年度増減
資本的収入	8 億 3164 万円	11 億 8436 万円	3 億 5272 万円増
資本的支出	18 億 2742 万円	23 億 4619 万円	5 億 1877 万円増

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、内部留保資金等で補てんします。